



卒業生の一人ひとりに町長から卒業証書が～率浦大学との合同卒業式

(広報紙中にある写真を欲しい方には、おまけします)

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所

町の生涯教育

率浦大学院

「率浦大学院」は「率浦大学」の上級校で、率浦大学の卒業生でなければ入学できません。当然、率浦大学よりも学習内容は高度になり、年十回開講します。また、屋外に出かける学習も多く、一泊しての研修旅行も行われます。開設は率浦大学より六年遅く、昭和五十年。昨年度(五十九年度)までの卒業生は、四百四十九人となっています。

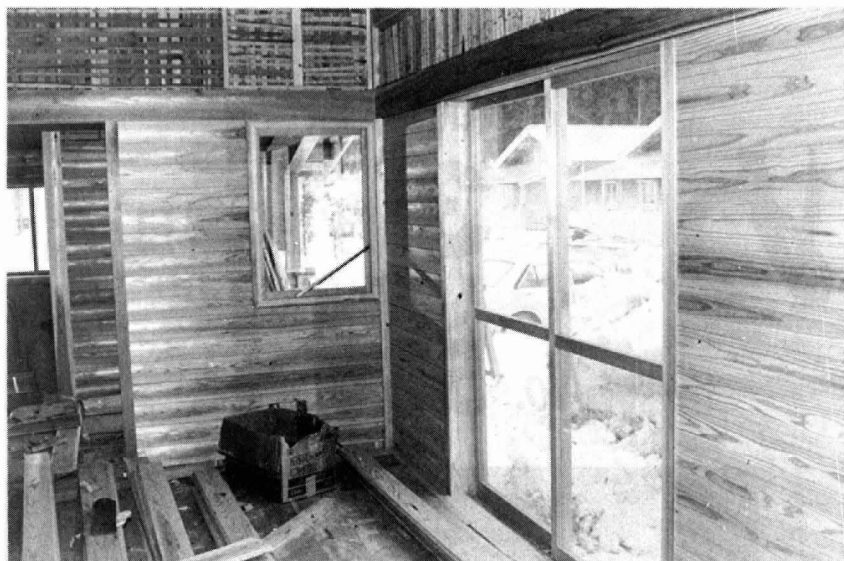
卒業式では、規定の単位を修得したお年寄り一人ひとりに、総長である町長から卒業証書が手渡されます。その卒業証書には、率浦大学と、率浦大学院で学んだ二年間の体験を生かして、今後は自ら学習計画をたて、生涯学び続けてほしいという期待が込められています。

※「町の生涯教育」は今回で終了します。

川をきれいに



馬場目川河口付近



杉材をふんだんに使った内部



団地の東側に建設中の公営住宅



木造平家建の公営住宅全景

矢場崎 公営住宅

入居者(5戸)を募集

杉の香り高い住まい

矢場崎団地公営住宅の入居者を募集しています。町では今年度(昭和六十年)度、矢場崎住宅団地に、秋田杉の香り高い特徴的なモデル木造公営住宅五戸を建設中です。住宅の建設には、設計者、五城目職人が一丸となってあたり、また町内で産する資材をふんだんに使用しており、居住性豊かな木造平家建住宅として注目されています。

公営住宅の入居者募集内容

- 内容は次のとおりです。申し込み用紙は役場建設課にあります。申し込みの際、添付書類として住民票(謄本)と所得証明書が必要です。
- ①入居者募集戸数
 - ・第一種住宅(六七・〇七㎡)一戸
 - ・第二種住宅(六一・一七㎡)三戸
 - ②第二種心身障害者世帯向け住宅(六一・一七㎡)一戸
 - ③受付期間 三月十五日～四月十五日
 - ④入居期日 五月一日
 - ⑤家賃月額 (予定)
 - ・第一種住宅 三万円
 - ・第二種住宅 二万五千元
 - ⑥申し込み先 役場建設課(☎52-2100)
- 公営住宅入居資格
公営住宅は、国の補助を受けて建設した町営住宅で、入居管理については、公営住宅法、五城目町町営住宅管理条例の規制を受けます。入居資格として次の条件を満たしている必要があります。
- ①現に同居し、または同居しようとする親族がいること
 - ②収入が入居基準額以下であること
 - ③現に住宅に困窮していること

収入の入居基準額

給与所得者1人、単位：円

区分	収入基準 (月収)	扶 養 親 族					
		1人	2人	3人	4人	5人	6人
第一種	141,000以下	3,067,999 (255,666)	3,459,999 (288,333)	3,823,999 (318,666)	4,183,999 (348,666)	4,547,999 (378,999)	4,911,999 (409,333)
第二種	87,000以下	2,143,999 (178,666)	2,555,999 (212,999)	2,971,999 (247,666)	3,375,999 (281,333)	3,739,999 (311,666)	4,099,999 (341,666)

上段年収、()内は月収

新里町公営住宅 入居者を募集

新里町公営住宅の入居者を募集しています。募集内容は次のとおりです。

- ①募集戸数 第二種住宅二戸
- ②募集期間 三月十五日～三月二十五日
- ③入居期日 四月一日
- ④家賃月額 一万九千円、二万円
- ⑤申し込み・問い合わせ先 役場建設課 ☎52-2100

第四回親と子の健康な歯づくり運動推進委員会

健康な歯づくりの「習慣化」「日常化」をめざして

第四回「五城目町親と子の健康な歯づくり運動推進委員会」が、三月六日、役場正庁で開かれ、三年間の研究実践の成果と課題を確認し、それを受けて昭和六十一年度以降の実践の方向を協議しました。この運動は、広報九月十五日号や十一月一日号でも紹介したように、学校・家庭・地域の独自性を生かしながら町ぐるみで積極的に進められました。それだけに、健康な歯



役場正庁で開かれた第四回健康な歯づくり運動推進委員会

徒や家庭に対する学校教育の在り方、生涯教育としての社会教育の在り方などを見直し、それに応じた組織づくりと推進方策を考えていかなければならないということでも共通認識を得ました。

次年度以降のこの運動の推進の方向についての概要は次のとおりです。

- ①新しい「五城目町親と子の健康な歯づくり運動推進委員会」を組織する。
- ②各学校（幼稚園・保育所・保育園を含めて）および公民館活動をおとした歯づくり運動を実態に即して継続推進する。
- ③「健康な歯づくり指導年間計画」を活用した指導。各学校の特色を生かした歯づくり運動の推進と家庭・地域の啓発。
- ④家庭教育学級等をおとした歯づくり運動の推進。
- ⑤「五城目町親と子の健康な歯づくり運動強調句間」を実施する。
- ⑥町歯科医師との連携を強化しながら、年二回の歯科検診を行い、むし歯の早期発見・早期治療に努める。
- ⑦「広報ぐじょうめ」を活用したキャンペーン運動を継続する。

歯磨きですつきりさわやか健康家族

五城目第一中学校一年 佐藤 小百合

母の気くばり

藤井 昌恵

（五城目幼稚園保護者）

ご飯をかみながら外に出る我が子に「歯は？」と叫ぶと、「あついけネー」といつて洗面所に行きます。寝る時間になると「おとうさんみがこう」と呼びかけます。子煩悩な主人は、洋軸と一緒に洗面所に行くと、子供と同じ位まで腰をかがめ、二人で顔を合わせリズムをとりながら磨きます。すてきなコミュニケーションです。洋軸が進んで歯を磨くようになったのは、幼稚園に入った五月頃からです。歯磨き奨励の〇×式の



評価がきっかけです。生後四カ月頃から乳歯が生えはじめ、乳歯がそろった頃は一本のむし歯もありませんでした。しかし、一本できるとむし歯の進行の早いのに驚きます。治療を繰り返しながら新しいむし歯を作ってしまう状態でした。治療している安心感から、口の中が汚れていたり、甘いものの洗礼をうけていることへの気くばりがなかったからです。

幼児のむし歯は親の責任です。私は、バスの中や病院の待合室等で、飽きたり泣かれたりしないための予防品として、子供が欲しがらるままにお菓子などを渡して来ると、これまで以上喜んで色をぬって楽しんでいたので、特別な期間だけでなく、ときどきカードをもたえたら、もっともって張り切ってみがくのでは……。これから徐々に歯みがきと健康の関係についても教えていきたいし、私たちも新たな気持ちで知識を学び取りながら、子供たちと共にむし歯退治にがんばりたいと思う。

生活のリズムの中で歯みがきを

本間 重春

（五城目幼稚園保護者）

「おかあさん、おはよう」「あゆちゃん早いねエ」の会話で始まる一日、六時三十分起床、着替え、朝食、歯みがき、洗顔、七時二十分登園……。毎日の繰り返し。今の子供たちは、生まれた時から歯みがきが重要

視されて育てられ、食生活にも気くばりがされてきたので、何の抵抗もなく歯みがきが習慣づけられ、それが生活のリズムの一環となっている。

私たちも今では、みがかないと眠れないくらい習慣になっているし、亜由子も小さい頃から何でも一人でやる習慣がついているので、歯みがきも自分から進んでやっている。それでも園から歯みがきカードをもらっ

「米の味」を考える

米消費拡大運動研修会

五城目町米消費拡大運動総合研修会が、2月24日午前10時から町民センターで、米消費拡大推進員や米消費拡大推進協議会委員、生活改善等実行グループなど約50人が参加して開かれました。

この研修会は、米のよさのPRと米の消費拡大をねらいとして、毎年、町が主催して行っているもの。

当日は、米消費拡大推進員から、後世に残していきたい「守る味」、新しい「求める味」、学習の成果による「攻める味」を追求した米料理23点が出品され、その料理をもとに意見の交換が行われました。また、午後からは渡部フサさん、猿田寿子さん、長沢テルさんの実践発表や、元生活改善専門技術員の長崎京子さんによる「お米と食生活」についての講演がありました。



いろいろな米料理を前に意見交換

カメラレポート



全国一になるまでの体験を語る加藤監督

能代工業高校 バスケット部 加藤監督が講演

社会体育研究集会

社会体育研究集会は、2月23日午前10時から町民センターで、体育関係者など約120人が参加して開かれました。

講演は、6回目の文化経済懇話会を兼ねて行われ、講師には、県立能代工業高校教諭で同校バスケット部監督の加藤廣志氏が招かれました。加藤氏は「バスケットボールと私」と題し、全国一になるまでの経緯やバスケットボールを通しての子弟・人間関係などについて約1時間半にわたり語りました。聴講者からは熱のこもった講演に盛んな拍手が贈られました。

その後、参加者たちは、「住民のスポーツ総参加の手だてはどうあるべきか」を研究主題に意見を交換しました。

また、町内対抗総合体育大会前期の表彰式も行われ、1位の浅見内町内会など6位までの町内会に賞状が贈られました。

お知らせ

NHK学園通信教育

受講生を募集

NHK学園では、通信教育（高等学校）の受講生を募集しています。

▽高等学校普通科コース

四年間の学習で高校卒業資格が取得できます。申し込み締め切りは四月七日。

▽高等学校教養コース

国語、英語など二十科目を学習します。申し込み締め切りは四月三十日。

▽問い合わせ先

NHK学園

東京都国立市富士見台二
三六〇四二五―72―31
51

町工事指名願い

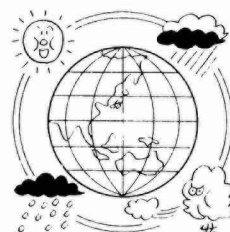
受付は3月31日まで

町では、昭和六十一年度の町施行工事参加指名願いを受け付けています。

▽受付期限 三月三十一日

▽受付場所 役場建設課

▽申請書用紙 五城目建設業協会（☎52―9090）にあります。



世界気象デー
3月23日

五城目一中同窓会

定期総会を開催

五城目第一中学校同窓会では、昭和六十一年度定期総会を開催します。

▽日時 四月十二日（土）

午後二時

▽会場 リバーサイド磯ノ目

▽審議案件

①昭和六十年度事業報告ならびに決算の承認について

②昭和六十一年度事業計画ならびに予算の審議について

③役員改選について

▽問い合わせ先

五城目第一中学校（☎52―2051）鈴木利雄教諭へ

医師の姿を紹介

AKTテレビ特別番組

AKTテレビで県民の健康維持に活躍している医師の姿を紹介した特別番組「医療をささえる群像」が放送されています。放送日は毎週日曜日、時間は午前八時半から九時まで。なお、その週の土曜日午後四時から再放送されます。

三月十六日以降のテーマは次のとおり。

▽三月十六日

小児の検診について

▽三月二十三日

救急医療について

▽三月三十日

先端医療について

老人居室整備資金を 低利でお貸しします

お年寄りの部屋を改築したり、増築する場合、「老人居室整備資金」を利用して下さい。この貸付金は、年金積立金還元融資資金を活用し、資金不足の人に低利で融資するものです。

▽貸付対象

六十歳以上の人(お年寄り)と同居していて、お年寄りの部屋を増改築する資金に困っている人

▽貸付限度額

八十万円(一戸当たり)

▽貸付の条件

・利率年三パーセント
・すえ置き期間 二年以内
・償還期限 すえ置き期間を過ぎてから八年以内
・償還方法 元利均等半年賦

福祉医療費支給制度の 一部が変わります

一部が変わります

- 福祉医療費支給制度の一部が次のとおり変わります。
- ①被用者保険本人(社会保険本人)の医療費の一部負担金が、昭和六十一年四月一日から無料になります。
- ②被用者保険本人のうち重度心身障害(四者)(身体障害者手帳一級・三級所持者、または療育手帳(A)所持者)を福祉医療費支給制度に加入します。
- ③この福祉医療費支給制度の被用者保険本人に対して、所得の制限基準が設けられています。

これら被用者保険本人に該当する方は、役場保健衛生課で手続きをしてください。

人会の協力で八百九十五枚のおむつが集まりました。

▽協力枚数

- 五城目地区婦人会 二一八枚
- 富津内(東)地区婦人会 一一一枚
- 富津内(西)地区婦人会 九〇枚
- 内川地区婦人会 一二六枚
- 馬場目地区婦人会 八〇枚
- 杉沢地区婦人会 五五枚
- 大川地区婦人会 一一五枚
- 森山地区婦人会 九〇枚
- 合計 八九五枚

社会福祉協議会では、これらのおむつを次のように配分する予定です。

▽配分予定

- 森山荘 二〇〇枚
- 昭寿苑 三〇〇枚
- 高清水寿光園 一〇〇枚
- 河辺荘 一〇〇枚
- 町内のねたきり老人家庭へ 一九五枚



スポーツコーナー

男鹿南秋スキー大会

五城目が団体優勝

第十三回男鹿・南秋スキー大会は、二月十六日、午前十時から恋地スキー場で行われ、五城目町スキークラブが四年

町内の話題

工藤さん東北代表に選ばれる

ミスユニバース

一九八六年のミスユニバース東北地区代表選出大会が、二月十六日、仙台市の東日本放送スタジオで開かれ、最終審査に残った二十二人の中から、本町の工藤緑さん(二十二歳)ら三人が東北代表に選ばれました。

工藤さんは、仲町の工藤美容院の長女で、現在、玉川大学の四年生。小さいころから

バスケットボールに打ち込み中学、高校時代には全国大会にも出場、大学でもキャプテンを務めるスポーツウーマンです。身長が一七三センチとすらりとした容姿の彼女をコンテストに推薦したのは大学の同級生とのこと。

日本代表選出大会は、三月二十七日に大阪のザ・シンフォニーホールで開かれます。昨年の本大会では東北代表の一人が準ミスユニバースに選出されておりました。



東北代表に選ばれた工藤さん

水泳バッチテスト

合格者

3月2日 温水プール (町内関係分)

▽一級

伊藤守、坂井三香、山口涼、沢田石るり子(以上五小)

▽二級

伊藤大助、伊藤悟、伊藤新、渡部貴之、伊藤一仁、伊藤さくら、伊藤茂利(以上富小)、佐々木健、石川育子、石川望美、佐々木友也、佐々木涉、石川春香、佐々木恵(以上上杉小)、伊藤進(五小)

▽三級

伊藤和嘉、渡部希理子、斉藤真弓(以上富小)、中村

▽四級

豊、金沢敏弘(以上上杉小) 小玉雅志、伊藤香奈子、一関尚史(以上五小)、佐々木結美(杉小)

▽五級

村上節子(五小)、伊藤司(杉小)

▽六級

伊藤知佳子、伊藤聖子、佐藤美子、工藤明美、小玉敦志、館岡早苗、菊地有子、猿田有希、村上朋子、熊谷香太郎、小野静香、湊歌子(以上五小)、沢田石紀仁(内小)、近野亨、佐々木勝成(以上上杉小)、渡部博之、伊藤恵(以上富小)、小原恵、小玉真喜子、板垣亜希子(以上大小)

いそのめ風土記

最終回 ②4

林業の町五城目

その基盤は江戸後期

今日の五城目町の代表的な産業は林業であろう。それは町の総面積の八二パーセントが森林であることによつて端的に示されている。そのうちの八一パーセントが人工林であるが、これは過去の伐採頻度の高さと今日の精力的な造林事業の進展を物語る。

当町域の木材利用の歴史は古く、平安時代にまでさかのぼる。大川の石崎遺跡では直径八〇センチメートル前後の柱をはじめ、外周一七八四メートルに及ぶ柵列線が確認されている。さて、秋田の杉が全国的に知られるきっかけになつ



御蔵下の杉林

たのが中世の終り頃で、秋田実季をはじめとする秋田在住諸大名による秀吉への太閤板上納である。当時の天然秋田杉の主産地は、実季が支配する米代川流域を中核とする県北部で、他の大名たちは上納分の一部を秋田氏領から購入し、それを供出した。この時、角館の戸沢氏が出した材木請取状の宛名に当地の支配者の一人と思われる五十目新三郎が名を連ねている。このことから、当町域産の秋田杉が戸沢氏の供出板として大阪へ廻送された可能性も見い出せる。

藩政時代に入り、秋田杉

が当藩の花形移出品の位置を占めるようになると、天然杉に恵まれた五城目の山々は直山・留山の指定をうける。しかしこれは山林保護という名の藩の独占支配を意味し、農民は山林からの締め出しを喰ったことになる。薪炭などに窮した農民たちなどによる徒伐が盛んになるのはこの頃からである。農民をシャットアウトし植林なしの伐採は、当然のことながら資源の枯渇を招来する。この打開策として藩が打ち出した政策が農民に七割の分収権を認め、植林の奨励である。農民に一定程度山が解放されると民間の木材関連産業も生れて、当町では木挽業者や木羽業者が増えてくる。そしてやがては材木商の登場となった。久保田城下町商人木村家と五城目材木商人加賀谷家の杉材取り引きを示す史料が現存していることから、もそれはうかがえる。村には杉皮買立所ができ、表向きは藩営ながら実質は民営の林産品売買機構として機能するようになる。こうして五城目は藩政後期から林業の町としての基盤を作り始めていたのである。

（県立五城目高校 高橋祥祐
県立博物館 渡部紘一）

4月ごみ収集日程表

「もえるごみ」

	曜 日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町 今 町、御蔵町、小池町、川原町、新 町 一番町、古川町、紀久栄町、館 町、中川原 樋 口、岩城町	3日・7日・10日・14日・17日 21日・24日・28日 月・木
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、 雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	1日・4日・8日・11日・15日 18日・22日・25日 火・金
大川(1区～4区以外の地区)、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	2日・5日・9日・12日・16日 19日・23日・26日・30日 水・土

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町 今 町、御蔵町、小池町、川原町	12日・第2土	26日・第4土
新 町、一番町、古川町、紀久栄町、館 町、 中川原、樋 口、岩城町	11日・第2金	25日・第4金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町 矢場崎	10日・第2木	24日・第4木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区～4区)	9日・第2水	23日・第4水
大川(1区～4区以外の地区)、森山地区、馬川地区	8日・第2火	22日・第4火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	14日・第2月	28日・第4月

注 意 ・台所のごみ(もえるごみ)は必ずよく水切りをしてから出してください。
・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
・ゴミ1個を10kg以内にこん包して出してください。

五城目町清掃センター TEL52-9904



預 善 意 銀 行
託 者 行

(敬称略)

- ・一月六日
一万円 紀久栄町 齊藤定己
(亡父嘉市様の香典返しとして)
- ・一月八日
二千五百円 雀館 匿名
(身障者手当を寄付したものの)
- ・一月十一日
二千五百円
広ヶ野 小浜秋雄
- ・一月十三日
四千円 昭辰町 匿名
(身障者手当を寄付したものの)
- ・一月二十日
二万円 古川町 北嶋幸雄
(亡母カツヨ様の香典返しとして)
- ・一月二十二日
千五百円
上樋口(上) 猿田幸子
(身障者手当を寄付したものの)
- ・一月三十日
三万円 東磯ノ目町 高沢真
(亡祖父直之助様の香典返しとして)
- ・十二月二十七日
バザーの収益金一万七千九百二十七円
五城目第一中学校
番楽
山内番楽保存会
- ・一月十二日
森山荘に
寄せられた善意
(敬称略)